

相手が障がいゆえにできないとわかっているのにイライラしてしまうことがある。(30代)

人権は他人事ではない。一緒にやれることをやっ
ていく。(70代)

自分から人権を学び知ることの大切さを改めて感じた。(50代)

人に対して配慮や思いやりのない言葉や態度をしている場面に会ったときに、人権について考えさせられ、自分自身にも問う。(40代)

勝手な思い込み、決めつけは人を傷つける。(70代)

外国籍児童との言語の壁。その子が少しでも過ごしやすい環境にしてあげたい。(50代)

みんなで考えよう人権のこと

8月は人権尊重のまちづくり推進強調月間

人権は、人が人として暮らすのに欠かせない、大事なものです。

日常の暮らしの中で、自分にとっての「当たり前」や「普通」があります。私たちは、無意識に、自分の「当たり前」や「普通」と違うものに対して「差別」をしてしまっているかもしれません。

差別は、偏見や無知によって特定の少数者などの尊厳を傷つけ、不当に扱ったり不利益を与えたりすることです。その要因の一つは、「差別は、差別されている人の問題で、自分には関係ない」と思っている人が少なくないことです。依然として、少数者への社会理解が進まず、偏見や配慮に欠けた対応など、深刻な人権問題になっています。

互いの人権を尊重するために、人権学習を積み重ね、人権への理解を深め、間違いに気づくことが大切です。市内では、「市民じんけんの集い」などの講演・セミナーや、各自治会が「住民学習」を開催しており、学びを深めることができます。

さまざまな人権課題を「他人事」ではなく「自分事」として、みんなで一緒に考え、市民みんなの力で「誰もが自分らしく暮らせるまち」をつくりましょう。

問 (市)人権推進課

住民学習に参加したことはありますか？

住民学習は、人権が尊重され明るい住みよい社会の実現のため、各自治会の社会教育推進委員が中心となって計画し、地域住民が積極的に参加できるような学習方法を取り入れながら、自治会ごとに行っています。

たとえば、現代社会の人権課題に関するDVDを見て、自分の思いや意見を出し、他の人の意見も聞く中で、人権意識を高め合いながら自分磨きができます。

人権について考える機会を大切に、共に考え、理解を深め、課題の解決に向けて、みんなで一緒に取り組みましょう。

日々考える大切な行動や意識

- ①参加し、参画する
人権に関する研修会やイベントに参加し、自分ができる範囲で協力したり自分の発想を生かしたりして企画や運営に関わる。
- ②出会い、対話する
市民同士が出会いと絆を大切に、尊重して対話することにより、互いが元気になる、自信をもって生きていく。
- ③気づき、学び合う
身近な生活の中にある人権に気づき、それを家族や友人と共有しながら、ともに人権を大切にしたい生活を高めていく。
- ④人と自分を大切に
「人も自分も大切に、ともに幸せになつていく」という考えを持ち、それを日々の生活で意識し、行動する。
- ⑤自分・家庭づくりから地域づくりに向かう
自分が積み上げてきた人権・同和教育の学びや経験を生かした家庭づくりを行い、やがて地域・職場に広げる。



(三同教50周年記念誌の原文を要約しつづめる)

市民じんけんの集い

市では同和教育をはじめ、あらゆる人権課題の解決と、市民の人権意識の高揚を図り、明るく住みよいまちをめざして「市民じんけんの集い」を開催します。

- ▶日時 8月20日(日) 13時15分～16時15分
- ▶場所 文化会館 大ホール
- ▶内容

<第1部>13時15分～

- 13時15分～ オープニングセレモニー
三木高等学校吹奏楽部
- 13時30分～ 開会行事
- 13時50分～ 「差別をなくする輪をひろげよう」
市民運動作品優秀賞の表彰
人権作文優秀賞受賞者による作文朗読

<第2部>14時30分～

- 記念講演
「人から人へ」～戦争のない世界を～
- ▶講師 近藤紘子さん(被爆体験者)
- ▶インタビュアー 市内高校生、大学生
- ▶ファシリテーター 井上直樹さん



令和4年度オープニングセレモニーの様子

<同時開催>

- バリアフリー映画会
子どもから高齢者、目や耳の不自由な人もだれもが楽しめる映画上映会です。
- 14時00分～ 開場
- 14時30分～ 「ミラベルと魔法だらけの家」の上映(102分)

- ▶場所 文化会館 小ホール



- 市民運動作品などの展示、福祉バザー
- ▶場所 文化会館 コミュニティホール